

米国中期債運用戦略ファンド (ダイワ投資一任専用)

追加型投信／海外／債券

第2期 2018年9月11日決算

作成対象期間 (2018年3月13日～2018年9月11日)

第2期末 (2018年9月11日)	
基準価額	9,579円
純資産総額	2,131百万円
第2期	
騰落率	△0.2%
分配金	0円

受益者の皆様へ

毎々、格別のお引き立てにあずかり厚くお礼申し上げます。

さて「米国中期債運用戦略ファンド(ダイワ投資一任専用)」は、このたび、第2期の決算を行いました。

当ファンドは、米国中期債運用戦略マザーファンドへの投資を通じて、主として米国債に実質的に投資することで、信託財産の中長期的な成長を目指して運用を行いました。

ここに、当作成対象期間の運用経過等をご報告申し上げます。

今後とも一層のご愛顧を賜りますようお願い申し上げます。

◆運用報告書(全体版)は、受益者のご請求により交付されます。交付をご請求される方は、販売会社までお問い合わせください。

◆当ファンドは、投資信託約款において運用報告書(全体版)に記載すべき事項を電磁的方法によりご提供することができる旨を定めております。運用報告書(全体版)については、以下の手順で閲覧およびダウンロードすることができます。

<閲覧方法>

下記ホームページアドレスにアクセス⇒「ファンド情報」を選択⇒「ファンド検索」を選択⇒「ファンド名で検索」にファンド名を入力*⇒該当のファンドを選択⇒「運用実績・レポート」を選択⇒「運用報告書(全体版)」を選択

※償還の場合は、「償還ファンド一覧」を選択

ホームページアドレス
<https://www.daiwasbi.co.jp/>



お問い合わせ先

受付窓口：(電話番号) 0120-286104

受付時間：午前9時から午後5時まで(土、日、祝日除く。)

※お客様のお取引内容につきましては、ご購入された販売会社にお問い合わせください。

資産運用のベストパートナー、だいわすみぎん

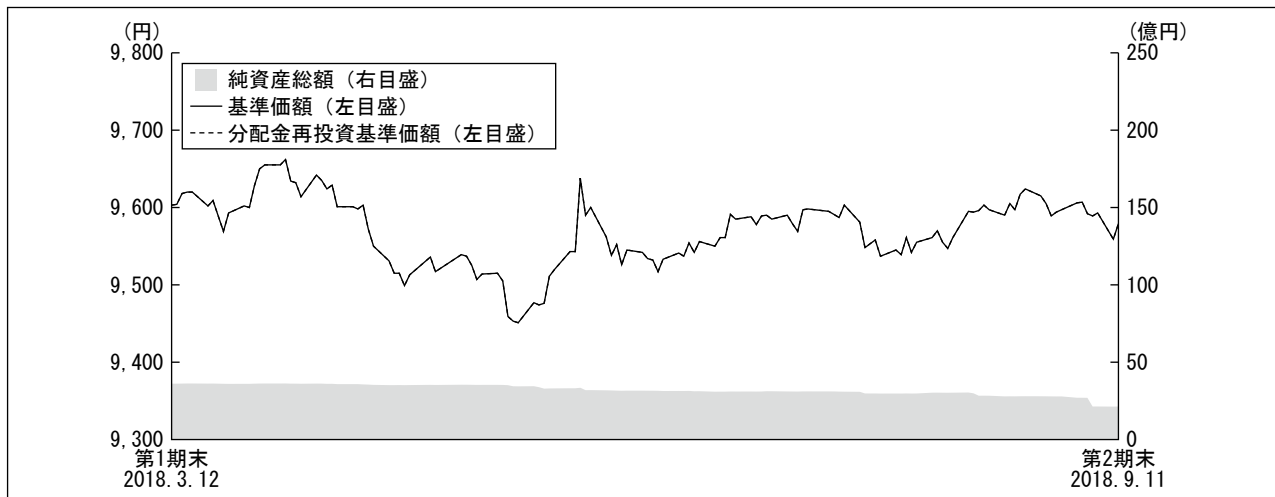


大和住銀投信投資顧問

Daiwa SB Investments

運用経過

【基準価額等の推移】



*当ファンドの運用方針に対し適切に比較できる指数がないため、ベンチマークおよび参考指数はありません。

*分配金再投資基準価額は、期首の基準価額を基準に算出しております。

*分配金再投資基準価額は、収益分配金（税込み）を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。

*分配金を再投資するかどうかについてはお客様がご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。従って、各個人のお客様の損益の状況を示すものではありません。

第2期首：9,603円

第2期末：9,579円（既払分配金 0円）

騰落率：△0.2%（分配金再投資ベース）

【基準価額の主な変動要因】

当ファンドは、米国中期債運用戦略マザーファンドへの投資を通じて、主として米国債に実質的に投資を行いました。

債券からの利息収入と米ドル円相場が円安に振れたことは上昇要因となりましたが、米国債の価格が下落したことや為替ヘッジを行ったことによるコストが下落要因となり、基準価額は下落しました。

【1万口当りの費用明細】

項目	当期		項目の概要
	2018年3月13日～2018年9月11日		
	金額	比率	
信託報酬	22円	0.227%	信託報酬＝期中の平均基準価額×信託報酬率 期中の平均基準価額は9,580円です。
（投信会社）	(16)	(0.162)	ファンドの運用等の対価
（販売会社）	(5)	(0.054)	購入後の情報提供、運用報告書等各種書類の送付、口座内でのファンドの管理等の対価
（受託会社）	(1)	(0.011)	運用財産の管理、委託会社からの指図の実行の対価
その他費用	1	0.012	その他費用＝期中のその他費用÷期中の平均受益権口数
（保管費用）	(1)	(0.007)	海外における保管銀行等に支払う有価証券等の保管及び資金の送金・資産の移転等に要する費用
（監査費用）	(1)	(0.005)	監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用
（その他）	(0)	(0.000)	信託財産に関する租税、信託事務の処理に要する諸費用等
合計	23	0.240	

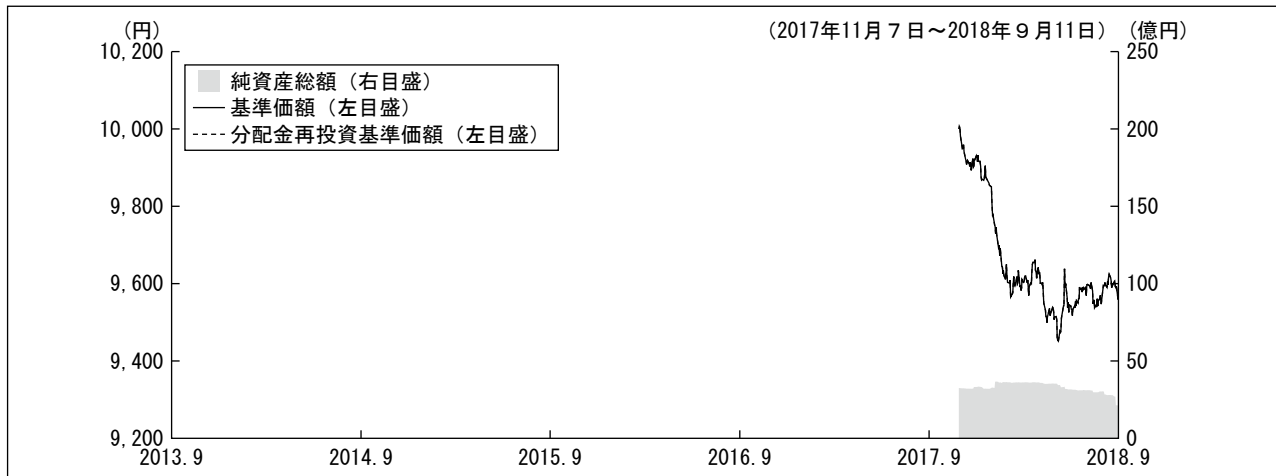
* 「比率」欄は1万口当りのそれぞれの費用金額を期中の平均基準価額で除して100を乗じたものです。

* 期中の費用（消費税等のかかるものは消費税等を含む。）は、追加・解約により受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。

なお、その他費用は、このファンドが組み入れている親投資信託受益証券が支払った金額のうち、このファンドに対応するものを含みます。

* 各項目ごとに円未満は四捨五入しています。

【最近5年間の基準価額等の推移】



*当ファンドの設定日（2017年11月7日）より表示しております。

*設定日の基準価額は設定価額を、純資産総額は当初設定元本を表示しております。

*当ファンドの運用方針に対し適切に比較できる指数がないため、ベンチマークおよび参考指数はありません。

*分配金再投資基準価額は、収益分配金（税込み）を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。

*分配金を再投資するかどうかについてはお客様がご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。従って、各個人のお客様の損益の状況を示すものではありません。

	2017年11月7日 設定日	2018年9月11日 決算日
基準価額 (円)	10,000	9,579
期間分配金合計 (税込み) (円)	—	0
分配金再投資基準価額騰落率 (%)	—	△4.2
純資産総額 (百万円)	3,245	2,131

【投資環境】

米国の5～7年の中期ゾーンの国債利回りは上昇（債券価格は下落）しました。3月は、米中の貿易摩擦懸念が高まったことなどを受け、利回りは低下しました。5月中旬に、米7年国債利回りは7年ぶりの水準まで上昇しました。主な背景は、4月以降に米中間で緊張緩和の動きが見られたことや、商品市況が上昇したためインフレ懸念が高まったことです。その後、南欧の政情不安や米国の通商問題は利回り低下の材料となった一方、米国の良好な経済情勢や政策金利の引き上げは利回りが上昇する材料となりました。

米ドル円相場は円安に振れました。4月から5月中旬にかけて、米中貿易摩擦懸念の後退や、小売売上高など米国の良好な経済指標の発表を受け、円安の動きとなりました。5月下旬に、南欧の政情不安定化などの影響で投資家のリスク回避姿勢が強まり、一旦円高に振れましたが、米国の利上げや米朝首脳会談が無難に通過したことなどを背景に、7月中旬に113円台まで円安が進行しました。その後、日本銀行が政策を修正するとの観測報道や米中の貿易摩擦激化への警戒感を受け、期末は111円台半ばで取引を終えました。

【ポートフォリオ】

■米国中期債運用戦略ファンド（ダイワ投資一任専用）

主要投資対象である米国中期債運用戦略マザーファンドを期を通じて高位に組み入れ、期末の実質的な公社債組入比率は98.1%としました。

■米国中期債運用戦略マザーファンド

当期の騰落率は、 $\Delta 0.0\%$ となりました。

債券ポートフォリオは、5～7年までの残存期間毎の米国債の組入比率がほぼ均等となるように構築し、残存期間の分散を図りました。

為替ヘッジ取引の判断にあたっては、大和証券株式会社からの助言を受けて以下の運用を行いました。為替ヘッジ比率は、50%台から100%程度の範囲で調整しました。期初から3月末にかけて、「守る為替ヘッジ戦略」のみ適用し、債券価格と為替レートが逆方向に動く傾向を分析した結果、80%台としました。4月初旬から7月の月末付近は、「攻める為替ヘッジ戦略」で円高局面と判定し、「守る為替ヘッジ戦略」を基準にヘッジ比率を増やす調整を行い、80%台から100%程度としました。その後、9月中旬まで「守る為替ヘッジ戦略」のみ適用し70%から80%台とし、期末付近に「攻める為替ヘッジ戦略」で円安局面と判定し、50%台に下げました。

【ベンチマークとの差異】

当ファンドの運用方針に対し適切に比較できる指数がないため、ベンチマークおよび参考指数はありません。

【分配金】

収益分配金につきましては、分配可能額、基準価額水準等を勘案し、見送りとさせていただきます。
 なお、留保益につきましては、運用の基本方針に基づき運用を行います。

■分配原資の内訳

（1万口当り・税引前）

項目	第2期	
	2018年3月13日 ～2018年9月11日	
当期分配金 (円)	0	
(対基準価額比率) (%)	0.00	
当期の収益 (円)	—	
当期の収益以外 (円)	—	
翌期繰越分配対象額 (円)	111	

※当期分配金の対基準価額比率は当期分配金（税込み）の期末基準価額（分配金込み）に対する比率で、ファンドの収益率とは異なります。

今後の運用方針

■米国中期債運用戦略ファンド（ダイワ投資一任専用）

引き続き、運用の基本方針に従い、マザーファンドへの投資を通じて、主として米国債に実質的に投資することで、信託財産の中長期的な成長を目指して運用を行います。

■米国中期債運用戦略マザーファンド

引き続き、債券ポートフォリオは、米国債5～7年のラダー型とします。

為替ヘッジ取引の判断にあたっては、引き続き、大和証券株式会社からの助言を受けて運用を行います。
 なお、投資助言者の運用方針は以下の通りです。為替ヘッジは「攻・守」合わせた戦略を適用します。「守る為替ヘッジ戦略」は常時適応し、債券価格とドル円レートが逆方向に変動する動きを捉え、安定した収益確保を図ります。さらに、ドル円の市場データを分析した結果、追加収益獲得の機会と捉えた際は「攻める為替ヘッジ戦略」を機動的に適用し、「守る為替ヘッジ戦略」を基準にヘッジ比率を増減する調整を行います。

お知らせ

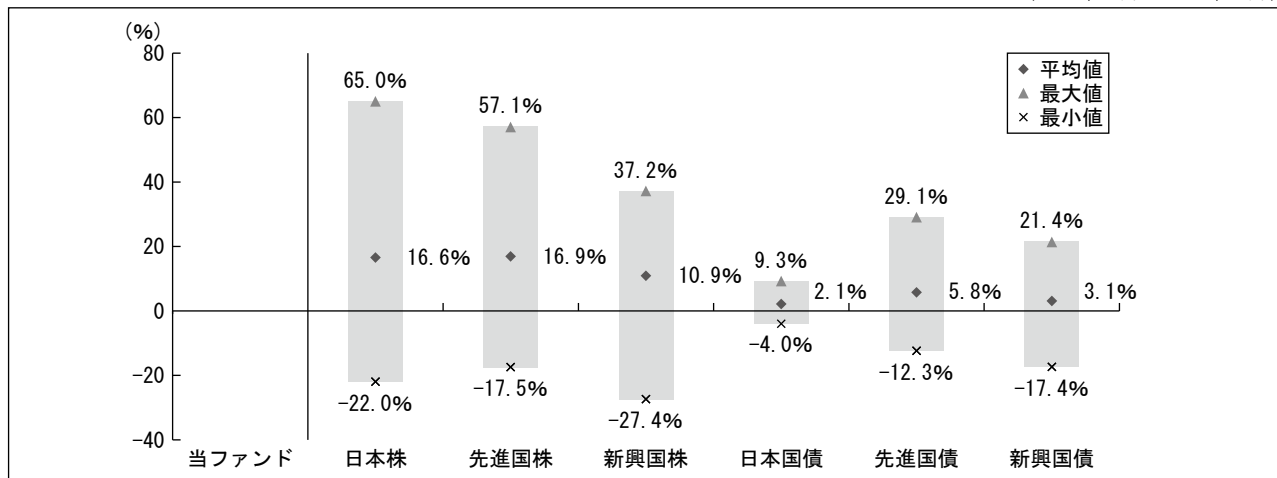
該当事項はございません。

当該投資信託の概要

商品分類	追加型投信／海外／債券	
信託期間	2017年11月7日～2022年9月12日（約5年）	
運用方針	マザーファンドへの投資を通じて、主として米国債に実質的に投資することで、信託財産の中長期的な成長を目指して運用を行います。	
主要投資対象	当ファンド	米国中期債運用戦略マザーファンド受益証券
	米国中期債運用戦略マザーファンド	米国債
当ファンドの運用方法	<ul style="list-style-type: none"> ・運用はファミリーファンド方式で行います。 ・残存期間が5年～7年程度の米国債に投資し、原則として、各残存期間毎の投資金額がほぼ同額程度となるような運用（ラダー型運用）を目指します。 ・米国債の実質組入比率は、原則として高位を保ちます。 ・実質組入外貨建資産については、「守る為替ヘッジ戦略」と「攻める為替ヘッジ戦略」の組合せにより、最適な為替ヘッジ戦略を目指します。 	
分配方針	毎年3月、9月の11日（休業日の場合は、翌営業日）の決算日に、収益分配金額は経費控除後の利子・配当収益および売買益（評価損益も含みます。）等の中から、基準価額水準、市況動向等を勘案して、委託者が決定します。ただし、分配対象額が少額の場合等には分配を行わないことがあります。	

【当ファンドと他の代表的な資産クラスとの騰落率の比較】

(2013年9月～2018年8月)



●上記期間の各月末における直近1年間の騰落率の平均値・最大値・最小値を、当ファンドおよび他の代表的な資産クラスについて表示したものです。

*当ファンドは設定から1年が経過していないため、年間騰落率を表示できません。

*全ての資産クラスが当ファンドの投資対象とは限りません。

*騰落率は直近前月末から60ヵ月遡った算出結果であり、当ファンドの決算日に対応した数値とは異なります。

<各資産クラスの指数について>

資産クラス	指数名	権利者
日本株	TOPIX（配当込み）	株式会社東京証券取引所
先進国株	MSCIコクサイ・インデックス（配当込み、円ベース）	MSCI Inc.
新興国株	MSCIエマージング・マーケット・インデックス（配当込み、円ベース）	MSCI Inc.
日本国債	NOMURA-BPI国債	野村證券株式会社
先進国債	FTSE世界国債インデックス（除く日本、円ベース）	FTSE Fixed Income LLC
新興国債	JPモルガンGBI-EMグローバル・ダイバーシファイド（円ベース）	J.P.Morgan Securities LLC

(注) 上記指数に関する著作権等の知的財産権およびその他一切の権利は、各権利者に帰属します。各権利者は、当ファンドの運用に関して一切の責任を負いません。

当該投資信託のデータ

〈〈当該投資信託の組入資産の内容〉〉

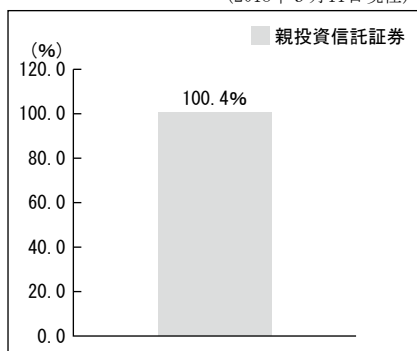
【組入ファンド】

	第2期末（2018年9月11日）
	組入比率
米国中期債運用戦略マザーファンド	100.4%

*組入比率は純資産総額に対する評価額の割合です。

【資産別配分】

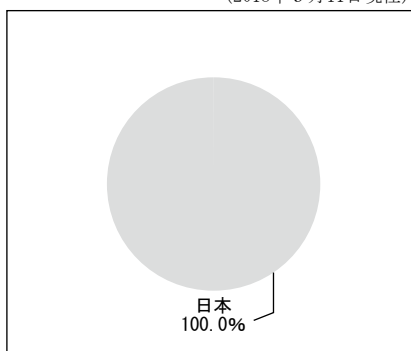
(2018年9月11日現在)



*純資産総額に対する評価額の割合

【国別配分】

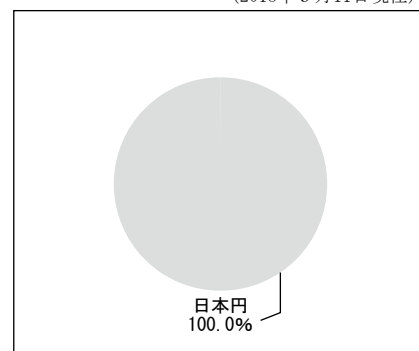
(2018年9月11日現在)



*ポートフォリオ部分に対する評価額の割合

【通貨別配分】

(2018年9月11日現在)



*ポートフォリオ部分に対する評価額の割合

【純資産等】

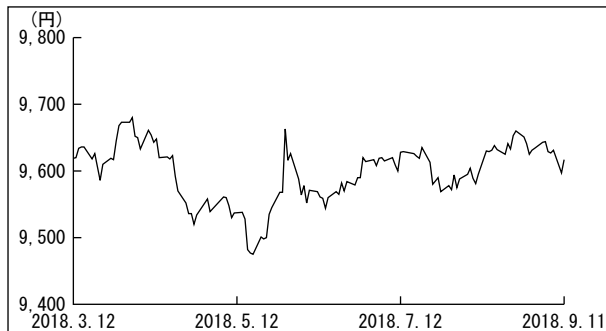
項目	当期末
	2018年9月11日
純資産総額	2,131,739,030円
受益権総口数	2,225,476,392口
1万口当り基準価額	9,579円

*当期中における追加設定元本額は104,441,878円、同解約元本額は1,638,347,723円です。

<<組入ファンドの概要>>

■米国中期債運用戦略マザーファンド

【基準価額の推移】



【1万口当りの費用明細】

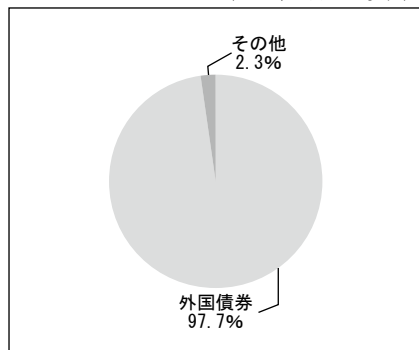
(2018年3月13日～2018年9月11日)

項目	金額
その他費用 (保管費用)	1円 (1)
(その他)	(0)
合計	1

*費用項目については、2ページの項目の概要をご参照ください。
 *期中の費用（消費税等のかかるものは消費税等を含む。）は、追加・解約により受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。
 *円未満は四捨五入しています。

【資産別配分】

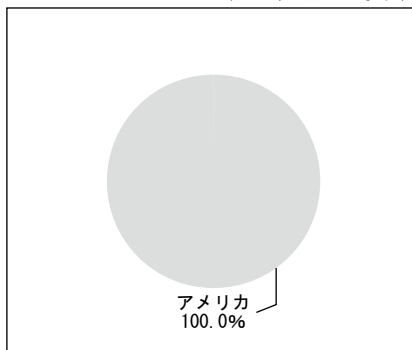
(2018年9月11日現在)



*純資産総額に対する評価額の割合

【国別配分】

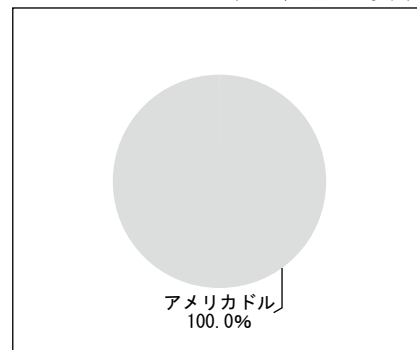
(2018年9月11日現在)



*ポートフォリオ部分に対する評価額の割合

【通貨別配分】

(2018年9月11日現在)



*ポートフォリオ部分に対する評価額の割合

【組入上位銘柄】

(2018年9月11日現在)

	銘柄名	通貨名	比率
1	US TREASURY N/B 1.875 08/31/24	アメリカドル	24.8%
2	US TREASURY N/B 2.75 02/28/25	アメリカドル	24.8%
3	US TREASURY N/B 2.75 08/31/25	アメリカドル	24.8%
4	US TREASURY N/B 2.125 02/29/24	アメリカドル	23.3%

(組入銘柄数 4銘柄)

*比率は純資産総額に対する評価額の割合です。

*全銘柄に関する詳細な情報等につきましては、運用報告書（全体版）に記載されています。

※ 基準価額の推移、1万口当りの費用明細は組入ファンドの直近の計算期間のものです。

※ 資産別配分、国別配分、通貨別配分、組入上位銘柄は組入ファンドの直近の計算期間末日のものです。

資産運用のベストパートナー、だいわすみぎん



大和住銀投信投資顧問

Daiwa SB Investments